

本資料には、個別工事費などの機微な情報が含まれているため、
一部情報については、マスキング処理をしております。

「東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画」 佐久間東幹線（山線）他増強工事における 工事費の状況について（報告）

2024年 6月 24日
広域系統整備委員会
コスト等検証小委員会事務局

- 東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画のうち、電発NWが事業実施主体である佐久間東幹線（山線）他増強工事については、工事費増額を受けた23年3月までの検証取りまとめにより、**見直し後の概略工事費を1,430億円**（23年3月時点）と示したところ。
- しかしながら、他工区はもとより先行工区も更なる精査が必要となることから、**23年4月以降も継続的にコスト低減の状況について確認する必要**があるとした。
- 第39回本委員会（24年4月）では、3月発注分の資材の内容についてご報告した。
- **本日は、6月発注分の資材の内容および運搬計画変更等の計画見直しについて確認したのでご報告する。**
- また、**23年3月の検証取りまとめ以降の4月から工事費変動状況の確認を継続的に行っており、概ね送電工事の請負発注が完了し、残りは電線などの資材発注が主であるため、資材未発注分の物価変動を考慮した24年6月時点の概算工事費見通しを取りまとめたことから、その内容を報告する。**
- **これにより、本委員会での電発NWの工事費変動状況の継続的な確認については終了することとしたい。**

■ 佐久間東幹線（山線）他増強工事の工事費増額に関する検証結果について（23年3月27日）一部抜粋

8. 今後の継続的な確認について

今般の検証において、限られた時間の中で一般送配電事業者の協力の下、コスト低減を行ってきた。ただし、先行工区について一定程度のコスト低減を提案したに留まっており、他工区はもとより先行工区も更なる精査が必要となる。

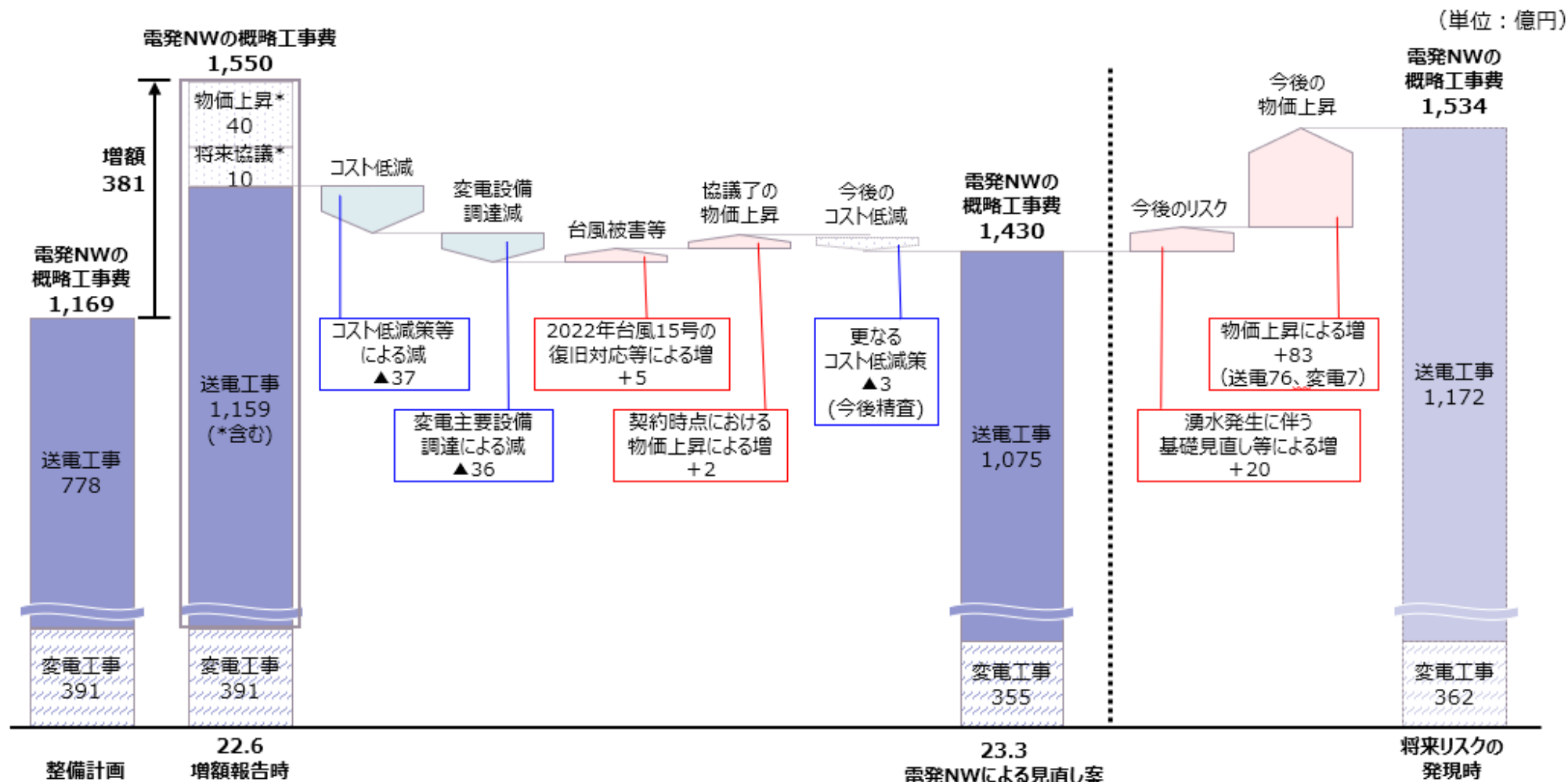
既にこれまでの検討において、一般送配電事業者の知見や確認事項は共有されていることを踏まえれば、まず基本的な対応として、今後のコスト低減策の反映については事業実施主体である電発NW が自ら精査した上で、各一般送配電事業者の協力も仰ぎながら、広域機関にて確認することで本整備計画を進めていくこととしたい。

また、今後のコスト低減についても、現地に入中で現場での工夫の余地がないか、電発NW がしっかり検討する仕組みを構築する必要がある。

なお、今後避けられない工事費増額が発生する可能性もあり、その都度、コスト小委にて審議すれば工事の遅延につながる恐れもある。

既に明示している工事費増額の可能性の中で、例えば保安林解除の手続きにおいて必要な工事を求められる可能性はまだ残っている。このため、**交渉の結果、工事費増額が不可避である場合など、今回の検証で示された将来想定されるコスト増要因が顕在化し、その増額が将来リスク発現時の概算工事費内に収まる場合は、工事の遅延とならないよう必ずしもコスト小委での事前承認までは必須としないものの、工事費増額を把握した時点でまず速やかに広域機関に報告の上、事案に応じて事前又は事後にコスト小委に諮ることとする。**

第30回コスト等検証小委員会
(23年3月) 資料3
検証取りまとめ (案)



※工事費には地内整備分を含む。なお、送電工事は佐久間東幹線（山線）他増強工事、変電工事は新佐久間FC新設工事をいう。

※単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

1. 概算工事費について

- 報告①：契約時点における物価上昇による増について
- 鉄塔材における物価変動額の増額確認について
- 鉄塔材における物価変動額の計算方法について
- 鉄塔材における物価指数の考え方について
- 電線における物価変動額の増額確認について
- 電線における物価変動額の計算方法について
- 電線における物価指数の考え方について
- 地線、金具類、碍子における物価変動額の増額確認について
- 地線、金具類、碍子における物価変動額の計算方法について
- 資材における物価変動状況のまとめ

2. 運搬計画変更等の計画見直しによる増について

- 報告②：運搬計画変更等の計画見直しによる増について
- 運搬計画変更による増額

- 仮設備変更による増額

3. 更なるコスト低減策の反映について

- 報告③：更なるコスト低減策の反映について
- 鉄板敷及び重量ステージの面積削減によるコスト低減について

4. 状況報告

- 「コスト低減▲37億円」の達成状況について
- 電発NWにおける更なるコスト低減に向けた検討状況
- 23年3月以降の概算工事費の推移

5. 確認結果のまとめ

1の内容は、非公表

1. 概算工事費について

- 報告①：契約時点における物価上昇による増について
- 鉄塔材における物価変動額の増額確認について
- 鉄塔材における物価変動額の計算方法について
- 鉄塔材における物価指数の考え方について
- 電線における物価変動額の増額確認について
- 電線における物価変動額の計算方法について
- 電線における物価指数の考え方について
- 地線、金具類、碍子における物価変動額の増額確認について
- 地線、金具類、碍子における物価変動額の計算方法について
- 資材における物価変動状況のまとめ

2. 運搬計画変更等の計画見直しによる増について

- 報告②：運搬計画変更等の計画見直しによる増について
- 運搬計画変更による増額

■ 仮設備変更による増額

3. 更なるコスト低減策の反映について

- 報告③：更なるコスト低減策の反映について
- 鉄板敷及び重量ステージの面積削減によるコスト低減について

4. 状況報告

- 「コスト低減▲37億円」の達成状況について
- 電発NWにおける更なるコスト低減に向けた検討状況
- 23年3月以降の概算工事費の推移

5. 確認結果のまとめ

2の内容は、非公表

1. 概算工事費について

- 報告①：契約時点における物価上昇による増について
- 鉄塔材における物価変動額の増額確認について
- 鉄塔材における物価変動額の計算方法について
- 鉄塔材における物価指数の考え方について
- 電線における物価変動額の増額確認について
- 電線における物価変動額の計算方法について
- 電線における物価指数の考え方について
- 地線、金具類、碍子における物価変動額の増額確認について
- 地線、金具類、碍子における物価変動額の計算方法について
- 資材における物価変動状況のまとめ

2. 運搬計画変更等の計画見直しによる増について

- 報告②：運搬計画変更等の計画見直しによる増について
- 運搬計画変更による増額

- 仮設備変更による増額

3. 更なるコスト低減策の反映について

- 報告③：更なるコスト低減策の反映について
- 鉄板敷及び重量ステージの面積削減によるコスト低減について

4. 状況報告

- 「コスト低減▲37億円」の達成状況について
- 電発NWにおける更なるコスト低減に向けた検討状況
- 23年3月以降の概算工事費の推移

5. 確認結果のまとめ

3の内容は、非公表

1. 概算工事費について

- 報告①：契約時点における物価上昇による増について
- 鉄塔材における物価変動額の増額確認について
- 鉄塔材における物価変動額の計算方法について
- 鉄塔材における物価指数の考え方について
- 電線における物価変動額の増額確認について
- 電線における物価変動額の計算方法について
- 電線における物価指数の考え方について
- 地線、金具類、碍子における物価変動額の増額確認について
- 地線、金具類、碍子における物価変動額の計算方法について
- 資材における物価変動状況のまとめ

2. 運搬計画変更等の計画見直しによる増について

- 報告②：運搬計画変更等の計画見直しによる増について
- 運搬計画変更による増額

- 仮設備変更による増額

3. 更なるコスト低減策の反映について

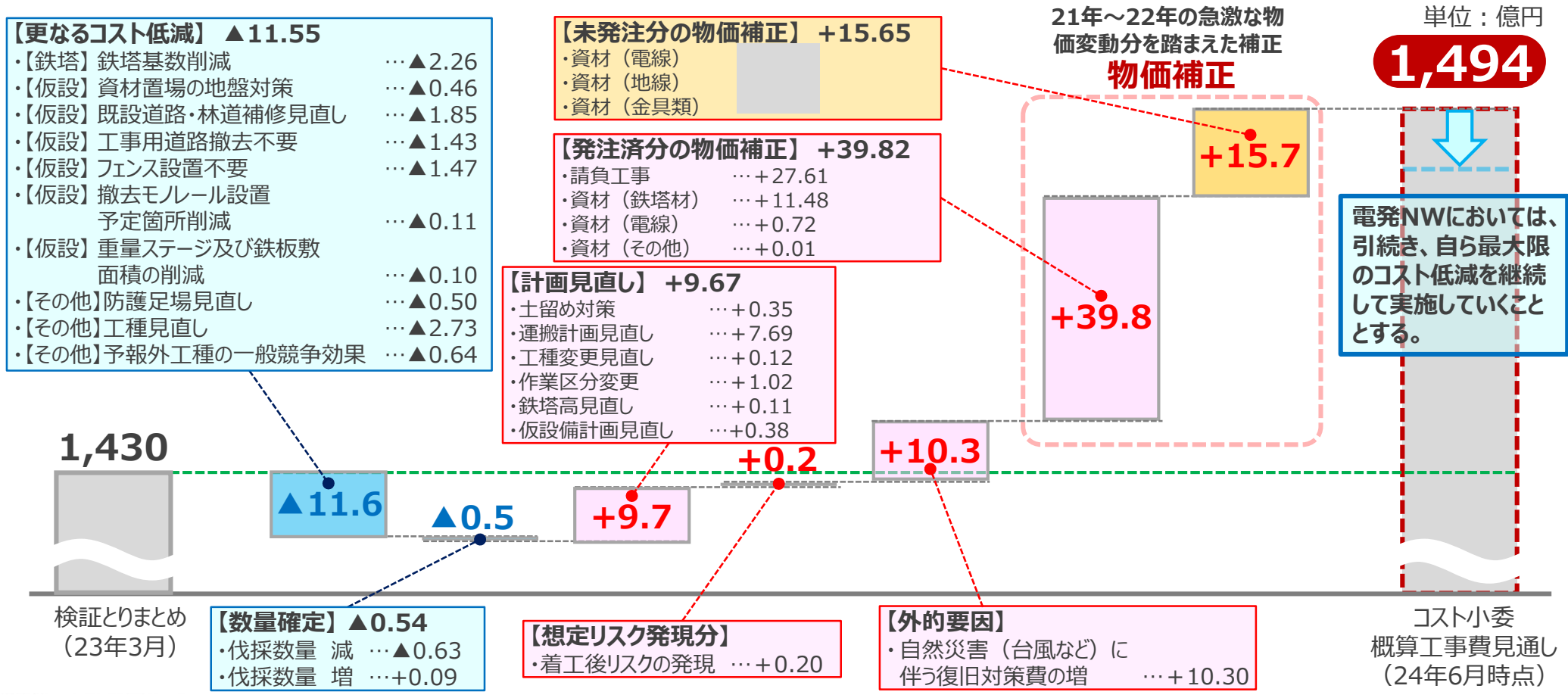
- 報告③：更なるコスト低減策の反映について
- 鉄板敷及び重量ステージの面積削減によるコスト低減について

4. 状況報告

- 「コスト低減▲37億円」の達成状況について
- 電発NWにおける更なるコスト低減に向けた検討状況
- 23年3月以降の概算工事費の推移

5. 確認結果のまとめ

- 23年3月の検証とりまとめ時点では、概算工事費見通しが1,430億円であった。
- その後、更なるコスト低減などにより▲12億円の減額となった一方で、計画の見直し、外的要因である自然災害に伴う復旧対策費に加えて、23年3月時点の概算工事費見通しに考慮されていなかった21年～22年の急激な物価変動分を踏まえた補正をしたことで+76億円の増額となった。
- これまでの確認結果を踏まえると、**24年6月時点における概算工事費は1,494億円となる見通し。**



1. 概算工事費について

- 報告①：契約時点における物価上昇による増について
- 鉄塔材における物価変動額の増額確認について
- 鉄塔材における物価変動額の計算方法について
- 鉄塔材における物価指数の考え方について
- 電線における物価変動額の増額確認について
- 電線における物価変動額の計算方法について
- 電線における物価指数の考え方について
- 地線、金具類、碍子における物価変動額の増額確認について
- 地線、金具類、碍子における物価変動額の計算方法について
- 資材における物価変動状況のまとめ

2. 運搬計画変更等の計画見直しによる増について

- 報告②：運搬計画変更等の計画見直しによる増について
- 運搬計画変更による増額

■ 仮設備変更による増額

3. 更なるコスト低減策の反映について

- 報告③：更なるコスト低減策の反映について
- 鉄板敷及び重量ステージの面積削減によるコスト低減について

4. 状況報告

- 「コスト低減▲37億円」の達成状況について
- 電発NWにおける更なるコスト低減に向けた検討状況
- 23年3月以降の概算工事費の推移

5. 確認結果のまとめ

- 本日は、昨年3月の検証取りまとめ及び前回本委員会までの報告を踏まえ、電発NWから受領した5～6月発注分の報告内容について確認を行った結果を報告した。
- その結果、今回の電発NWの概算工事費は1,478億円となり、検証取りまとめ時の1,430億円から+48億円の増加となった。
- コスト低減策▲37億円は100%達成となったことを確認した。
- 23年3月の検証取りまとめ以降の4月から工事費変動状況を継続的に確認を行ってきた。概ね送電工事の請負発注が完了し、残りは電線などの資材発注が主であるため、資材未発注分の物価変動を考慮した24年6月時点の概算工事費見通しを取りまとめたことから、その内容を報告した。
- これにより、本委員会での電発NWの工事費変動状況の継続的な確認については終了することとしたい。
- 引き続き、事業実施主体においては、1,494億円を基本としつつ、最大限のコスト低減などを継続して実施していただきたい。

■ 広域系統整備委員会 ★ コスト等検証小委員会

事業実施主体		2022年度								2023年度								2024年度
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q
東京中部間連系設備	東京PG										★			★	★	★	■ (完了)	
	中部PG										★			★	★		■ (完了)	
	電発NW		★	■ (非公開)			■		■	工事費変動モニタリング						■		■
				★	★	★	★	★	★	★			★	★	★	★		★
																		★

完了予定